

包括的な個人完結型リストマーケティングで 「完全一人ビジネス」を 実現する方法、教えます。

平成も遠い過去になった今、すでに“組織化&洗練化”された法人たちが乱立しているインフォ業界で、一個人事業主が「王道手法のみ」で太刀打ちできると、まさか本気で思っていますか？

邪道&裏ワザとは言わないまでも、時代の潮流を見据えた戦略と、**精緻に構築された超効率的なスキーム、そして特異型スキル&テクニック**が揃っていないければ勝ち目はありません。

新しい時代に対応した諸問題を解決する方法を、この短いレターであなたにお伝えしましょう。

吉井是也です。

どうやら、これからは「コミュニティビジネスの時代」だそうです。インフォ業界と呼ばれる場所での“大御所”の方が自信満々でそう仰っているので、おそらくそう的外れではないのでしょう。

大御所さんの言っていることは肌感覚でも分かるのですが、哀れなのはその“信奉者”たちです。大御所さんは「これからは“何を言うか”より“誰が言うか”の時代である」と仰っておりますが、哀れな信奉者たちは、まさにその言説にまんまと乗せられ、教祖様のご神託を有難く押し戴いているのです。

「理想世界」「移動型コミュニティのリーダー像」「喪われた物語の再生」・・・
そんな掴みどころのない、ふわふわしたものを求めて右往左往し、彼ら信奉者たちは喜んで買っているわけです。

ああ、これぞまさに「再現性のジレンマ」。

図らずも、大御所の提唱する概念の正しさは、その哀れな信奉者たちによって実証されているのです。

誤解されると困るのですが、

私は、まさかマーケティングの世界で手垢にまみれた「共通の仮想敵」を創り出して自分に気を惹く手法を使って、こんなことを言っているわけではありません。

私は私なりに、「コミュニティなるもの」を構築する志向性がありますが、その向かっている方向があまりにも彼ら“信奉者”と違い過ぎるために、ここで問題提起をしたまでです。

では私が志向する「コミュニティなるもの」とは何でしょうか？

それは、「2019年という時代に最適化されたリストマーケティングを極める」ことです。

私が言うところのリストマーケを実践することにより、Facebookの非公開ページやらチャットワークやらオンラインサロンプラットフォーム等には一切頼ることなく、実現することが可能なのです。

・・・何を？

疑似コミュニティ

を、です。

「コミュニティと疑似コミュニティは違うんじゃないですか？」・・・なるほど、一理あるかもしれません。ですが冷静に考えて、ではそれなら「コミュニティの定義」を教えてください。

wikipedia や大辞林に頼ることなく、理路整然とあなた自身の言葉でそれを淀みなく語ってくれる方がいるならば、私はこの無駄口を慎みましょう。そのくらい「コミュニティ」とは曖昧であり、掴みどころのない概念です。そこに目を付けた一部の鋭い仕掛け人が逆手に取って、コミュニティの定義を曖昧にしたまま「コミュニティビジネスを教える」ことでボロ儲けしているのも理解できます。

定義がはっきりしていない以上、私の言う「疑似コミュニティ」もまた、純然たるコミュニティと言い切れるのです。言葉遊びに見えるかもしれませんが、私の中でそれは原理原則であり本質的なことです。ただ、このレターの中で強調することでイメージしやすくなるため「疑似コミュニティ」という言葉を使ってみただけなのです。

もしお好みなら、「ステルス型コミュニティ」とでも呼んで頂いて構いません。実態は、どれも一緒だからです。

ところで・・・

そんなことより、 これは何の教材ですか？

そろそろ、そんなお叱りが聞こえてきそうなので、いささか強引ですが結論から述べましょう。

「規約変更に対応した LINE と新時代でも通用するメルマガノウハウ群の集積、そこからいかにして“疑似コミュニティ”を構築していくかを伝授する場」

です。

このレター冒頭で述べた「コミュニティなるもの」を、主宰者である私と、参加するあなたが「専門特化型ノウハウの共有」という形でともに追求できないだろうか？ と考えたので、このレターの出だしはいささか挑戦的なものとなりました。

ですがそのほうが、より洗練され実践に即した「コミュニティなるもの」の在り方を、お互い体得できる可能性が高まると確信しています。

メルマガ不達問題が取り沙汰されている今、「包括的なリストマーケティング戦略」を構築するには、メルマガと LINE@ とは相互補完かつ共依存的な関係なので、そちらについても微に入り細を穿ちお伝えしましょう。

その全てを、本教材内で「動画コンテンツ」として提供します。

本教材の名前は、

れいわりすとまぷりんしぷる

(令和リスト魔プリンシプル)

です。

我々“一人ビジネス実践者”も、大所帯で組織化された販売者たちが繰り出す、キラキラと洗練されたパッケージングに包まれた、数々のサービス・商品と太刀打ちしなくてはならない時代になりました。

ほんの10年前までは、見込み客の需要にさえ応えていれば数千万円の売上を一個人で（しかも一発で）上げることが可能だったこの業界も、見事なまでに様変わりしたものです。

たとえば仮にあなたが、コネも知名度もない、リアルのオフ会などもってのほか、コミュニティと聞いただけで隠れたくなる・・・そんなタイプの方なら、今の時代環境においてこの業界で稼ぐことはもはやほぼ無理ゲーに思えることでしょう。もしかすると、絶望しているかもしれませんね。

ですが、私が考えるにまだ「完全一人ビジネス」で、誰とも癒着せずに長期的に利益を上げ続けられる方法があるのです。無論、昔のように「一撃数千万」みたいな話ではありませんが。

それこそが、先ほどから言っている「包括的で緻密な戦略」に基づいたリストマーケティングなのです。

リストマーケティングを極める方法以外にも、これから先「一人でネットビジネスで食いつなぐ」別の方法はあるでしょう。が、例外なくそれらは肉体労働と本質的に変わりありません。

「これからはコミュニティビジネスの時代」・・・その言説は大筋、間違っていないと私も思うのですが、このレターをここまで熱心に読んでくれているあなたは「コミュニティのリーダー」なんてものを本気で目指そうと思っていますか？

もしそうでないなら、私はあなたの悩みに応えられる自信があります。だからこそ、「LINE」と「メルマガ」という武器を使い倒した、「リストマーケ」という弱者にとって最後に残されたビジネススタイルを追求すべきなのです。

それでは、本教材「れいわりすとまぷりんしぶる」で私がお伝えする、具体的なコンテンツ内容をお話しましょう。

全体戦略編

この「全体戦略編」を、まずは全身の細胞に染み渡らせるくらいに浸透させてください。テクニック編で、もちろん修羅の如く超具体的なノウハウは惜しみなくお伝えしますが、それもまずこの「全体戦略編」の動画講義でお伝えする大前提ありき、なのです。

・全体戦略：動画講義1（29分29秒）

（言うまでもないことですが、はじめに戦略ありきです。本教材では、全体を通してキレキレ&キラキラな、それはもうエグれるようなノウハウ群・テクニック集・チート技などを惜しみなく披露しますが、それもこれも全て、この「戦略編」でお伝えする大戦略が前提となります。私も大の裏技好きですが、戦略なきチートはいずれ滅びます。なので、エッジの立ちまくった「テクニック編」を視聴する前に、少しだけ我慢して「戦略」の基本骨子を押さえておいてください）

・全体戦略：動画講義2（20分57秒）

（あなたは「今日からメルマガを始めました、情報発信デビューです！」とすぐに浮かれるタイプでしょうか？ だとしたら、ここで残酷な事実をお伝えしなければなりません。最初は、誰一人として“発信者”であるあなたのことに興味がありません。それ以前に“人”とすら見てくれません。ですが、安心してください。この冷徹な事実と真摯に向き合うことで道は開けます。少しでも早くあなたが「価値ある発信者」と見なされる近道は、存在します。本教材全体に通底する考え方であり戦略ですので、必ずモノにしてください）

LINEテクニック編

いくら浮世離れしている私でも、このページをご覧のあなたが一番興味を持っているのは、これら「テクニック集」であることはわかりきっています。ですが、先に必ず上記「全体戦略編」を体得してから、テクニック編に進んでくださいね。それでは、まずLINEテクニック編の内容をざっと紹介すると・・・

・LINEテクニック編 講義1：

「LINEマーケとはいかなるものか」（32分06秒）

（今このタイミングだからこそ、LINE@もしくは「LINE公式」は破壊力があります。ですが、本教材での「LINEの位置づけ」は一貫しています。ここである程度の答えを言ってしまうと、メルマガ読者になって頂くための「入り口の入口」の媒体として扱います。だからこそ、ゴミみたいなLINE情報発信を続ける限り未来はないのですが・・・それでも、この講義をスルーしますか？）

・LINEテクニック編 講義2：

「一撃必殺メルマガ転換術」（25分08秒）

（LINEにはスマホからワンクリックで簡単に登録してくれるのに、それをPC向けメルマガの読者さんに変換するなんて敷居が高いよ！・・・まさか、そんなこ

を思っていませんよね？ LINE@であろうとLINE公式アプリであろうと、実は「メルマガ読者に変換する」には、超絶簡単なタイミングというのがあります。これを知るか知らないかだけでも、あなたのリストマーケの効率性は飛躍的に変わってくることでしょう。また、その「ベストタイミング」で万々メルマガ読者になってくれない方も、実にナチュラルにメルマガ読者に変える方法も細かくお伝えしています)

・LINEテクニック編 講義3：

「1 to 1トークテクニック」 (35分29秒)

(自称「LINEマーケッター」の方でも、皆さん「1to1トーク」機能をナメ過ぎです。ココさえ攻略してしまえば、たとえLINEサービスが明日終了しても長期的に利益を上げ続けられることでしょう。このパートでお伝えするノウハウが、そのままメルマガにそっくり移植&応用できることは言うまでもありません。どうして皆、この機能を深掘りしないかと思っていたのですが、どうやら彼らは知らないだけらしいので私が懇切丁寧に解説しましょう。さらに「裏の裏」テクニックである、“一斉配信イリュージョン”についても・・・)

メルマガテクニック編

誤解のないよう先にここでお伝えしておきますと、本教材の中では「LINE」とは、あくまでもサブ的な位置づけです。誰が何と言おうと、この界限でビジネスを展開していく以上は「メルマガ」からは逃れられません。古臭い、他の自称「メルマガノウハウ」との格の違いを実感してください。

・メルマガテクニック編 講義1：

「リストとは温度を持った人である」 (15分07秒)

(ここまでのレターで、私は意図的に“偽悪的”な文言をあえて使ってきました。ので、ここでこんな「急にいい人!？」みたいな言葉を見ると、逆に幻滅するかもし

れません。ですが、こんな基本中の基本な心構えすらできていない、自称メルマガ発信者が多くて閉口します。「読者様」とか耳触りのよい言葉を使って、読者に媚びを売る人に限って・・・おっと、このくらいにしておきましょう)

・メルマガテクニック編 講義2 :

「ステルス型リストマーケティングの真髄」 (30分57秒)

(ここでハッキリとお伝えしておきますが、いわゆる「初期リスト」=あなたの情報発信に触れてまだ間もない人、あるいはあなたのノウハウにしか興味無い人は、あなたのことを「人」とすら思っていません・・・ずいぶん残酷なことを言うように思うかもしれませんが、それが事実なのです。このパートでは、その絶望的な現実から目を背けず、むしろ逆手に取って「あなたという“人”」に興味を持って頂くためお役に立てるであろうノウハウを語り倒しています)

・メルマガテクニック編 講義3 :

「疑似コミュニティのグルになるためのコンセプトメイキング」 (28分38秒)

(いささか誇張気味な講義名に見えるかもしれませんが。ですが、この動画セミナーを見れば、そんな疑念は立ちどころに解消されるでしょう。そのくらい、このパートは自分でも“キラークンテンツ”だと自信を持っています。何せ、皆が悩む「コンセプトメイキング」について、しかも近道で固めるためのノウハウを、惜しみなく開陳しているからです。まあ、深くは申しません。思考レベルの違いをご堪能ください)

・メルマガテクニック編 講義4 :

「疑似コミュニティのグルになるためのコンセプトメイキング」 (20分08秒)

(ここまでの戦略編、そしてメルマガ編で、これからの時代も通用するリストマーケティングの「戦略」はお伝えしてきました。そして、このパートでお伝えしているのは、文字通り「最短であなたをコミュニティの主にする戦術」です。ココを間違えると、とんでもない遠回りをする羽目になります。極端なことを言えば、他の動画講義は後回しにしても、この動画セミナーだけは絶対にチェックしてください。でないと、数年単位であなたの貴重な時間が徒労に終わるリスクがあります)

・メルマガテクニック編 講義5：

「曲解型サブスクリプション・メルマガ構築法」 (33分23秒)

(あなたも既にお気づきのように、世はサブスクリプション全盛期です。この言葉の本来の意味は各自ググって頂きたいのですが、GAF Aに代表される巨大企業が取り入れているサブスクリプション方式を、そのままこのインフォ系と呼ばれる界限で適用すると間違いなく火傷します。なので、サブスクの“正しい拡大解釈”の方法をこっそりお伝えしましょう。でないと、確実に価格競争に巻き込まれます)

・メルマガテクニック編 補講1：

「目的別メルマガ配信スタンドの選び方・令和元年Ver.」 (45分14秒)

(メルマガ配信に関して、いつの世も最も多い質問ベスト3に入るのが、このテーマです。「どこがオススメのメルマガ配信スタンドですか?」と……。ですが、こんなところで時間をかけ、踏みとどまっていたはあなたの貴重な生命時間を浪費するだけです。ここもクリアできていない方は、残念ながら個人ビジネスのスタートラインにすら立っていないと言い切れます。もう、この話にはさっさとケリをつけましょう。私が歴代使ってきた「大手4社」を実名入りでメリット・デメリットをそれぞれ洗い出し、今のあなたのスタンスに最も適したスタンドをその理由とともにお伝えします。また、どのスタンド使いであれほとんどの人がわかっていない「絶対にやるべき設定」「絶対にしてはいけない設定」も伝授します)

・メルマガテクニック編 補講2：

「細かいテクニック&小技集」 (59分14秒)

(この一本のテクニック解説動画だけでも、あなたの売上・利益は変わることでしょう。たとえば、配信スタンドに付いている「ブラックリスト機能」を使うべきでない明確な理由があるのですが、考えてみたことはありますか? 読者の「名前」を知っていても「名前差し込み機能」を使わない方が良い理由とは? 令和の時代になってもなお、SNSやスキルシェアサービスより「無料レポートスタンド」が集客に最適な理由は? メルマガを読んでいない読者を、あなたのほうから確実に解除すべき理由は? 供給過多な“情報発信者たち”の中で一撃でユニークさを発動し“頭一つ抜ける”シンプルな方法とは?…これら全てにお答えしましょう)

価格について

良くも悪くも、一番気になる場所だと思います。ですので、巷の流行に逆らってさらりと流します。「本来は10万円だけど、今だけ期間限定で・・・」みたいな、手垢まみれな売り煽りをするつもりは一切ありません。

本教材の価格は、39,800円です。

この値段を高いと思うかは自由ですが、教材代というよりは「参加費」だと思って頂ければと思います。

>> [参加はこちらから](#) <<

平成とともに捨てるべきもの ～追伸に変えて

何の自慢にもなりません、
私はこれまで、おもに裏方のお手伝いをさせて頂くことで、
かなり以前からこの界隈をチラチラと横目で見してきました。

ですので、通常のレターでいうこの“追伸”の部分で
本当は何を言うのが正解なのかを知っています。

ですが今回、それらくだらないテクニックの一切を封印しています。

と言うよりも、このレターではそういった
「買わずにはいられなくなるレターのテクニック」を
完全に無視しています。

つまり・・・

どこかの公的機関が出しているデータを無理くり引っ張ってきたり

自由がどうだのブラック企業がどうだのいう手垢まみれの言葉を連呼したり

自分を権威づける小手先のギミックを乱発したり

「未来A」と「未来B」を比較してみたり

次はあなたの番です！と叫んでみたり

この教材であなたの人生は一変しますと出鱈目を言ってみたり

「数年前のビットコインと同じ状況です！」と煽ってみたり

永続的な資産を作りませんか？と囁いてみたり

・・・といったようなことです。

こういった、くだらないテクニックを駆使すれば
当たり前ですが「成約率」アップにはつながるでしょう。

ですが、普段そういったテクニックを求められることがあまりに多いため
自分自身の企画・教材では、一切使いたくなかったのです。

というか、このレターでは写真やイラストの類すら
ただの一つも使っていません。

これは何も、横着しているわけではなく

レターを小ギレイにしたり、
夢を見させるようなイメージ画像を多用したり、
くだらないテクニックを盛り込んだりすると・・・
いわゆる「情報弱者」が集まってしまうことを知っているからなのです。

ですが、こんな「売れにくいレター」にもかかわらず
本企画にご参加いただける人とは、
長期に渡る良いお付き合いができるかと本心で思っています。

それでは、メンバーサイトと参加者通信でお会いしましょう。

吉井是也

>> [参加はこちらから](#) <<